

Partners

New Zealand Government



ニュージーランド
北海道
酪農協力プロジェクト



New Zealand Hokkaido Dairy
Collaboration Project

ニュージーランド・北海道酪農協力プロジェクト

ニュージーランド政府とニュージーランド主要乳業会社が2年間のプロジェクト資金を提供致します。

(プロジェクト概要)

北海道から4軒の放牧酪農家を選出し、放牧による牧草の有効活用の効率向上と放牧酪農家の採算性の向上を目的に2年間かけて調査分析し、今後のアドバイスを提供するために必要な資料の作成と、収集したデータを基に北海道の放牧酪農家のベンチマーク(指標)を作成する予定です。

そのために土壌、草地、動物科学、放牧デザインのエキスパートをニュージーランドから北海道へ派遣し調査を行い分析します。

北海道庁は、このプロジェクトに対し、酪農の効率化に向け必要な協力を行います。

1. 具体的内容とタイムスケジュール

調査フェーズ1 (2014年8月から)

- (1)家畜飼養頭数
- (2)分娩データ
- (3)生体重データ
- (4)TMR利用データ
- (5)農場規模、放牧面積、採草面積、関連施設概要
- (6)土壌分析データ

* 上記項目のデータを基に4軒の酪農家を選出します

調査フェーズ2 (2014年12月～2015年11月)

- (1)牧草の成長率データ
- (2)放牧ローテーション日数
- (3)放牧草とサイレージの品質データ
- (4)牛乳の生産と品質データ
- (5)動物の健康状態(屋内、屋外)
- (6)糞尿の処理方法と肥料の投入量に関して

* 2016年から2年間、4軒の酪農家の経営効率の変化を確認するために、サポート・調査を行っていく予定です。

その他提供資料

- (1)収支データ(生産コスト、農場への投資コスト)
- (2)フェーズ1.2で収集したデータを基に採算性向上に向けてアドバイスを受けるために必要な資料

2. 発生する費用に関して

- (1)調査費用に関してはプロジェクトで負担します
- (2)農家の方には費用が発生しません(お手伝いいただくことはあります)
- (3)御協力いただく日本の研究機関で発生する費用はニュージーランド側で負担します

3. プロジェクトチーム

キース・ベタリッジ

ニュージーランドの農業科学者
土壌、草地、動物科学のスペシャリスト
で農場のシステムに関する十分な知識があります。ニュージーランドの国営研究機関である「AgResearch」では放牧が環境に与える研究も長く行なっていました。1990年に栃木県の国立研究機関で1年以上の仕事の経験があり、その間に北海道での講演実績が4回あります。



ガビン・シース

ニュージーランドの農業科学者
放牧、草地学の世界的第一人者であり、
グラスファームスクール第一回目
(1996年)から現在に渡り18年間総括講
師として指導。海外でのコンサルタント
活動の傍らニュージーランド国内にて林
業と家畜生産を考えた牧場経営(肉牛、
羊)を行っています。



デビッド・マッコール

DAIRY NZ ジェネラルマネージャー
ニュージーランドの農業科学者
家畜栄養学のエキスパートであり、酪
農経営ベンチマークの専門家です。
DAIRY NZは、政府関係機関としてニ
ュージーランド国内の酪農家へ経営
指導などを行なっています。
グラスファームスクール第一回
(1996年)から第三回目(1998年)まで
講師として指導。



ラッセル・マックデービッド

フォンテラ 国際部 コンサルタント
フォンテラは10,500戸の酪農家によって
所有された酪農協同組合で、ニュージー
ランド最大の企業であり、また世界最大
の乳製品輸出企業として、ニュージーラ
ンドの乳製品の95%を世界140カ国のお
客様と消費者にお届けしています。
ラッセルは世界中の酪農家へカスタマー
サービスの一環としてコンサルタント業
務を行なっています。酪農技術、ファーム
デザイン、機械、施設などの投資効率に
ついてのスペシャリストです。



ファームエイジ株式会社

放牧で成功している方、これから放
牧をしようとしている方の多くが参
加しているニュージーランドスタディ
ーツァー、グラスファームスクール
のサポートなど、29年間に渡り放
牧普及のための活動を幅広く行っ
ている会社です。
日本での窓口業務と情報収集のコ
ーディネートを担当します。



プロジェクトについてご関心、ご質問のある方は下記へお問い合わせください。

【問合せ先】 ファームエイジ株式会社 担当:小谷、高田
TEL:0120-82-4390 FAX:0133-22-3013
E-mail:kotani@farmage.co.jp / takada@farmage.co.jp